

社会科学習指導案

単元名「これからの食料生産とわたしたち」

令和5年10月 第5学年 指導者 富永 正明

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』第5学年の内容の（2）を受けて、設定するものである。ここでは、我が国の食料生産の概要に関する内容と食料生産に関わる人々の工夫や努力に関する内容から構成されている。

児童はこれまで、食料生産に関わる人々が生産性や品質を高めるために努力したり、輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることについて学習してきた。そこで、本単元では、食料生産の課題について考える場面を設定する。食料生産の課題を追究していくなかで、藤岡市でも「自然条件を生かして生産していること」や「地産・地消の取組」などが行われていることを児童は知り、自分たちにも食料生産の課題を解決するためにできることを考える。そのような活動を通して、我が国の農業における食料生産についての理解を深めることをねらいとしている。

2 研究との関わり

（主 題）

主題は、「学習したことを関連付け、自分の地域や生活についての考えを深める児童の育成」である。児童は、本単元の学習を通して、藤岡市でも食料生産が自然条件を生かして営まれていることや、食の安全・安心の確保や地産・地消等の取組が行われていることを理解し、日本の食料生産の課題解決のために、自分たちに何ができるかを考える。

（手立て①：「くらべるシート」の作成）

学習する際、「くらべるシート」を活用していく。「くらべるシート」には、各単位時間で学習内容に関する資料を写真で貼り付け、「今日の一言」（授業全体の振り返り）を入力し、学習したことや考えたことを蓄積していくものである。

「くらべるシート」はいつでも情報を共有することができるので、考えることが苦手な児童でも、困ったときは他の児童の考えを参考にすることもできる。さらに、毎時間の学習を蓄積させていくことで、児童が自分の思考を振り返ったり友達同士で交流したりできるようにする。

本時では、これまでの学習を踏まえ、自分の地域（藤岡市）や自分の生活と比較・関連付ける活動を設定する。児童はこれまでの学習の中で、自分の地域や生活と比べたい学習内容を選択し、関連する写真を貼り付ける。これまでの学習（日本全体における食料生産の様々な取組等）と自分の地域や生活を写真を使って比較し、それらに関連付けることで、そのよさについて考えたことを入力する。

（手立て②：「くらべるシート」を使った友達との意見交流）

「くらべるシート」を使い、4～5人のグループになって意見交流を行う。児童は写真等の資料から分かることを根拠にしなが、自分の地域（藤岡市）や生活と比較し、「取組のよさ」という視点を明確にして発表する。次に、友達の考えに対して必ず感想を言わせたり質問をさせたりすることでより活発な意見交流になるようにする。友達との意見交流を通して自分の考えと友達の考えを比較し、多様な考え方に触れることで、自分の地域や生活についての考えを深めることができると考えた。

3 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解できるようにす	・地図帳や地球儀、教科書や資料集を使って調べ、必要な情報を集め、読み取ることができる児童が多い。 ・食料生産についての知識は多いとは

	る。	いない。
思考力、判断力、表現力等	・生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現できるようにする。	・資料から読み取った事実をもとに、因果関係や社会的事象との関係性について考えることができる児童は少ない。
学びに向かう力、人間性等	・我が国の食料生産について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決する態度を養う。	・学習問題について予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする児童が多い。

4 評価規準

知識・技能	・我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。
思考・判断・表現	・生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・我が国の食料生産について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究している。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全5時間：本時は第5時）

過程	時間	<input checked="" type="checkbox"/> ねらい <input type="checkbox"/> 学習活動 <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1	<input checked="" type="checkbox"/> 食料自給率のグラフ等の資料から分かることをもとに、日本の食料生産について話し合っって学習問題をつくり、学習計画を立てる。 <input type="checkbox"/> 日本の食料生産について考え、学習問題をつくる。			○	◆日本の食料生産について調べ、日本の食料生産について問題意識を持ち、学習問題について考えている。 <発言・ノート・くらべるシート(態)>
[単元の学習課題] 日本の食料生産の課題を解決するために、わたしたちに何ができるだろう。						
追究する	1	<input checked="" type="checkbox"/> 日本の食料自給率が低下した原因を考え、表現する。 <input type="checkbox"/> 日本の食料自給率が低下した原因を考える。 <input checked="" type="checkbox"/> 「くらべるシート」で振り返りをする。学習内容に関する資料の写真を貼り付ける。			○	◆食料自給率が低下した原因を考え、表現している。 <発言・くらべるシート(思)>
	1	<input checked="" type="checkbox"/> 消費者の関心の高まりを背景に、食の安全・安心を確保するための取組が行われていることを理解する。 <input type="checkbox"/> 食の安全・安心の確保のために行われている取組を調べる。 <input checked="" type="checkbox"/> 「くらべるシート」で振り返りをする。学習内容に関する資料の写真を貼り付ける。	○			◆食の安全・安心を確保するための取組が行われていることを理解している。 <発言・くらべるシート(知)>

	1	<p>■藤岡市でも自然条件を生かして食料生産が営まれていることを理解する。</p> <p>□自分の地域や生活と比較する。</p> <p>★「くらべるシート」で振り返りをする。印象に残った写真資料等を貼付する。</p> <p>★「くらべるシート」に、これまでの学習と自分の地域や生活とを比較し、似た取組の写真を貼り付け、それらに関連付け、取組のよさを入力する。</p>	●		◆身近な地域も、自然条件を生かして食料生産が営まれていることを理解する。＜発言・くらべるシート（知）＞
ま と め る	1 本 時	<p>■これまで学習したことと自分の地域や生活とを比較し、日本の食料生産の課題を解決するために自分たちにできることを考え、表現する。</p> <p>□課題解決のために、自分たちができることを考える。</p> <p>★「くらべるシート」を使い、これまでの学習と自分の地域や生活とを比較し、日本の食料生産の課題を解決するために自分たちにできることを考え、表現する。</p>	●		◆これまで学習したことと自分の地域や生活とを比較し、自分たちにできることを考える。＜くらべるシート・意見交流（思）＞。

II 本時（第5時）の学習

1 ねらい

「くらべるシート」を使った友達との意見交流を通して、これまで学習したことと自分の地域や生活とを比較し、日本の食料生産の課題を解決するために自分たちにできることを考えている。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 単元の学習内容を振り返る。（導入5分）</p> <p>S：これまで日本の食料生産に関して、いろいろなことを学んできた。</p> <p>S：今日は、単元のまとめの時間だ。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>これまで学習したことと藤岡市や自分の生活とを比べ、日本の食料生産の課題を解決するために、わたしたちに何ができるかを考えよう。</p> </div>	<p>◎「くらべるシート」を使って既習事項を振り返らせて、本時のめあてを設定する。</p>
<p>2 「くらべるシート」を使って、自分が見つけた取組のよさについて班や全体の前で発表し、共有する。（展開①20分）</p>	<p>◎「くらべるシート」を使い、これまでの学習と自分が見つけた写真から分かることを根拠にして、「その取組のよさは何か」ということについて考え発表させる。</p>

<p>S : たしかに、国産のものだとより安心して食べることができるよさがあるね。でも、外国産には、安く買えるというよさもあるよ。</p> <p>S : たしかに、外国産のものは安く買えることが多いよね。でも、遠い国から運んでくるということは、環境にとってはよくないということも学んだよね。</p> <p>S : たしかに、地産・地消はより新鮮なものが食べられるというよさがあるね。でも、消費者だけじゃなくて、生産者にとっても自分たちが作ったものが地域の人にたくさん食べられるとうれしいと思うよ。</p> <p>S : たしかに、藤岡市で行っているフードバンクは、食品ロスを減らすことにつながりそうだね。でも、小学生の僕たちがすぐに協力するのは難しそうだね。</p>	<p>○自分の考えを、自信をもって発表できるように、必要に応じて「くらべるシート」内にある説明の仕方を参考にしてもよいと伝える。</p> <p>○話合いが活発になるように、友達の考えに対して感想を言ったり、質問をしたりするよう話合いの前に助言する。</p> <p>○友達との交流を通して学んだことを生かしながら、次の「自分たちにできること」を考える活動をすることを伝え、友達との交流活動の重要性を再確認する。</p> <p>○班の中で「他の班の人に知ってほしい」という基準で互選し、班の代表者に発表させ、全体で共有することで、さらに多様な考えに触れることができるようにする。</p>
<p>3 話し合ったことを踏まえ、日本の食料生産の課題を解決するために、自分たちにどのようなことができるかを考え、入力する。 (展開②15分)</p> <p>S : 地産・地消のよさや大切さを家族にも伝え、できるだけ藤岡市や群馬県内で作っているものを買ってもらおうようにする。その方が安く新鮮で、環境にも優しいから。</p> <p>S : できるだけ国産のものを買うようにする。日本の食料自給率が上がるし、外国産と比べ、より安心して食べることができるから。</p> <p>S : 外国から輸入しているものも含め、食品に載っている表示等を見て、生産地や生産する過程についてもっと知る。消費者としては、食の安全・安心の確保がとても大切だから。</p> <p>S : 藤岡市で作っているきゅうりの素晴らしさをアピールできるようなポスターを作るのもありだと思う。4年生の時に「蚕」のポスターを作ったら、たくさんの人たちに喜んでもらったから。</p> <p>S : これからも給食を残さずに食べることが大切だと思う。給食を残す量が減れば、ほんのわずかかもしれないけど、食品ロスを減らすことにつながるから。</p> <p>S : 農家の方に、農業の楽しさや大変さについてのお話を聞きたい。お話を聞くことで、農業についての理解がさらに深まると思うから。</p>	<p>◎単元の学習問題に対するまとめができるように、「くらべるシート」に入力させる。</p> <p>○自分だけで考えることが難しい児童には、くらべるシートのタブから友達の意見を見て、参考にしして考えるよう助言する。</p> <p>○自分たちができることに関して多様な考え方に触れるために、入力する内容を見た上で何人か指名し、全体で共有する。</p> <p>○児童の考えをさらに深めるために、発表した児童の考えに対して、何名かの児童に感想を言わせたり質問をさせたりする。</p> <p>○自分たちにでもできることのよさを知るために、その取組をする理由も発言させる。</p> <p>○学習問題に対する答えを共有するために、「自分たちにできること」の児童の意見を板書する。</p> <div data-bbox="836 1666 1428 1854" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>◆評価項目 学習したことと自分の地域や生活とを関連付け、自分たちができることを考えている。 ＜つながりシート（思）＞</p> </div>

<p>4 単元全体の振り返りをする。 (終末5分)</p> <p>S : くらべるシートがあったから、これまでの学習と藤岡市や自分の生活と比べやすかった。</p> <p>S : くらべるシートを使った友達との交流があり、色々な考え方に触れ、自分の考えを広げることができた。</p>	<p>○「くらべるシート」「友達との交流」について考えたことを入力する。</p> <p>○今日の授業のように、学習したことと自分の地域や生活とを比較したり、自分たちにできることは何かを考えたりすることは、社会科の学習において、とても大切だということを伝える。</p>
--	---

3 板書計画

※テレビ画面に「くらべるシート」を拡大して映し、全体で共有する場面で活用する。

<p>【めあて】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>これまで学習したことと藤岡市や自分の生活とを比べ、食料生産の課題を解決するために、わたしたちに何ができるかを考えよう。</p> </div> <p>【似ている取組とよさ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食べ残しを減らす→フードロス減 ○給食で地産・地消→食料自給率UP ○藤岡市の自然を生かした栽培→環境にやさしい ○みっけもん→新鮮、安全、安心、安い 	<p style="text-align: center;">～みんなの意見～</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【自分たちにできること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産・地消のよさを家族に伝える。 ・できるだけ国産のものをかう。 ・藤岡産の野菜をアピールするポスターを作る。 ・食品の産地などをよく確かめる。 ・給食をできるだけ残さず食べる。 ・地域の農家の人にお話を聞く。 </div>
---	---